

JAPAN PRIZE 2020

第47回 日本賞 教育コンテンツ国際コンクール

2020年10月26日（月）～11月5日（木）

55年の歴史で初のオンライン開催へ

【参加】55の国と地域【参加作品数】282作品

「日本賞」各部門

コンテンツ作品・5部門【エントリー数 252】から
【一次審査通過作品 53】が決定

※音と映像を用いた作品で2019年1月1日～2020年7月31日までに放送・公開したもの

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ① 幼児向け（視聴対象が0歳～6歳） | 【49作品】 → 【11作品】 |
| ② 児童向け（6歳～12歳） | 【68作品】 → 【12作品】 |
| ③ 青少年向け（12歳～18歳） | 【50作品】 → 【12作品】 |
| ④ 一般向け（18歳以上） | 【58作品】 → 【11作品】 |
| ⑤ デジタルメディア | 【27作品】 → 【7作品】 |

企画部門【エントリー数 30】から
【一次審査通過作品 5】が決定

※予算や機材などの制作条件が十分でない国・地域の教育に役立つテレビ教育番組の企画

詳細は <http://www.nhk.or.jp/jp-prize/>

主な日程 [開催期間：10月26日（月）～11月5日（木）]

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 10月26～30日 | 本審査 |
| 11月1～4日 | イベント |
| 11月2日 | キーノートセッション「コロナと世界の教育メディア」 |
| 11月3日 | セッション「多様性を考える」 |
| 11月5日 | オンライン授賞式 |

会期中の主なイベント

【11月1日～4日 午後10時～】Zoom ウェビナー

○制作者に聞く～Meet the Finalists～ それぞれの部門の一次審査通過作品の制作者に、作品について話を聞きます（同時通訳あり）（要・事前申し込み）

11月1日（日）幼児向け部門

11月2日（月）児童向け部門

11月3日（火）青少年向け部門

11月4日（水）一般向け部門

【11月2日】午後6時～7時30分 会場 WITH HARAJUKU HALL(東京・渋谷)

○キーノートセッション「コロナと世界の教育メディア」

コロナ禍の中、世界のメディアはどんなコンテンツを作り、どんな葛藤や工夫があったのでしょうか。最前線で活躍する方々が「学び」の新たな可能性について議論します。Zoom ウェビナーでのオンライン参加も可能です。（要・事前申し込み）

【11月3日】午前10時30分～午後0時 会場 WITH HARAJUKU HALL(東京・渋谷)

○セッション「多様性を考える」

世界の教育コンテンツは、子どもたちに「多様性」をどのように伝えているのか。エントリー作品に描かれた様々な「多様性」をテーマに、海外の制作者と結び、教育コンテンツが未来にどんな貢献ができるのかを探ります。Zoom ウェビナーでのオンライン参加も可能です。（要・事前申し込み）

【11月2日～4日】会場 WITH HARAJUKU HALL（東京・渋谷）

○ファイナリスト作品上映会

幼児向け～一般向け部門の一次審査通過作品と「人種」「障害」「LGBTQ」など多様性をテーマにした作品上映会を行います。（字幕あり）（要・事前申し込み）

【11月5日】夜(時間未定)

○オンライン授賞式

各賞とグランプリの発表を行います。授賞式の模様は Facebook でライブ配信します。

司会：ハリー杉山 ほか

作品のオンデマンド視聴

10月29日～11月12日の2週間、一次審査通過作品を視聴いただけるサービスを試験的に行います（英語版）。視聴には、日本賞ホームページでの登録が必要です。

詳細は <http://www.nhk.or.jp/jp-prize/>